

平成30年度第1回秦野市廃棄物対策審議会概要

1 日 時 平成30年8月24日（金）午前10時～11時30分

2 場 所 秦野市役所本庁舎3階講堂

3 出席者 11名

東海大学名誉教授	原田 一郎 氏
秦野市自治会連合会	橋本 日出夫 氏
東海大学教養学部人間環境学科准教授	小栗 和也 氏
多摩大学グローバルスタディーズ学部教授	橋詰 博樹 氏
秦野市商店会連合会	中島 正彦 氏
イオンモール株式会社	横倉 実可 氏
神奈川県宅地建物取引業協会 湘南中支部秦野地区	石田 岳志 氏
秦野市農業協同組合	熊澤 淳子 氏
公募市民	小林 裕子 氏
公募市民	大塚 満津子 氏
公募市民	松岡 守 氏

4 議事

(1) 秦野市ごみ処理基本計画の進捗について

ア 委員からの意見1（資料1～4）

千葉市では、平成19年度に33万トンあった焼却ごみ量を3分の1削減する目標で、平成26年度に25万トンに減量をしています。しかも人口が増えている中で達成しているということであり、そういった事例を参考にすることも大切だと思います。

やはり自治会の協力は重要で、行政と自治会が一緒になって取り組んでいただきたい。

イ 委員からの意見2（資料1～4）

来年の4月から市内全地区で草類の分別収集を開始するということですが、月、木の可燃ごみの収集日で、月曜日に草類が出てしまっていた場合には、回収しないで木曜日に回収するのですか。その間に雨が降って濡れてしまっても大丈夫ですか。

ウ 意見2に対する事務局からの回答（資料1～4）

今年の6月から本町、東、北地区で草類の分別収集を開始した際には、対象の収集場所全てに看板を設置して周知しましたが、6月は移行期間ということで、月曜日に草類が出されていた場合は、可燃ごみとして回収しました。7月からは、回収せず貼り紙をして置いていく対応をとり、木曜日まで残っている場合には、草類として回収しています。その間に雨が降って濡れてしまったものにつきましても、資源化ができなくなる訳ではないので、草類として回収しています。

エ 委員からの意見3（資料1～4）

分別収集を開始した当初は、自治会の人々が順番に収集場所に出て確認していたので、きちんと分別がされていました。分別が浸透したということで確認をやめてしまうと、元に戻ってしまいます。

草類についても、収集場所に出て確認してもらうなど、自治会の協力を得て進めてほしいと思います。

オ 委員からの意見4（資料1～4）

草類の分別をしてもらえることが前提になっていますが、高齢者や学生が多く住むアパートでは難しいことも踏まえて仕組みを作っていただきたい。

カ 委員からの意見5（資料1～4）

草類の分別収集について、最初の1か月は移行期間ということで、可燃ごみとして回収していたということですが、最初から貼り紙をして置いていく方が、認識され、分別の徹底も進むと思います。

キ 委員からの意見6（資料1～4）

今回の草類の分別収集の周知はどれくらい前からされましたか。

ク 意見6に対する事務局からの回答（資料1～4）

収集場所に周知の看板を設置したのが1か月前です。

ケ 委員からの意見7（資料1～4）

広報はだのは新聞の折り込みになっていますが、最近は新聞をとらない人も多くなっています。そういった人達への広報はどのようにしていますか。

コ 意見7に対する事務局からの回答（資料1～4）

広報はだのは、登録していただくとポスティングすることもしています。しかし、それでも全ての方への周知は難しいことから、ごみを捨て

る方が必ず目にする、収集場所で対象の1, 200箇所全てに周知の看板を設置しました。

また、来年度は、分別カレンダーに草類の分別収集開始に関する事項を掲載できるため、移行期間を設けることなく4月から草類の分別を実施していく予定です。

サ 委員からの意見8（資料1～4）

草類の分別収集のチラシですが、Q&Aで答えがイエスの部分は問題ありませんが、ノーについてはその理由を記載しないと応用がきかないと思います。

(2) 専門部会における減量の枠組みの検討に向けた取組について

シ 委員からの意見9（資料5～7）

可燃ごみに資源物が混入している説明がありましたが、汚れている資源物を可燃ごみとするか資源物とするかの境目のコンセンサスを持てるかが重要なことだと思います。

ス 委員からの意見10（資料5～7）

専門部会では、資源物を中間処理している事業者の視察を予定しており、事業者から資源物として処理できるものの基準の聞き取りを行い、市民への周知の参考にしていきたいと思っています。

(3) その他

セ 委員からの意見11（資料5～7）

ごみの減量は一人ひとりの意識が大切です。そういった意味で、子ども達に対する学校でのごみに関する教育も大切だと思います。